



永田クラブ、経済研究会、国土交通記者会へ公表

令和2年5月29日
内閣府（防災担当）

大雨の警戒レベルをわかりやすく伝えるために 5色の配色を定めました

5段階の警戒レベルの違いをわかりやすく伝えるためには、その配色を統一させ色のイメージを定着させることが重要であり、またその配色が様々な色覚の人にも可能な限りわかりやすいものになっていることが必要です。

このため、様々な色覚の人^{※1}を対象に、わかりやすい警戒レベルの配色に関する検証調査^{※2}を実施しました。検証調査ではそれぞれの色の違いが見分けやすいかどうか、その色が示す危険度や切迫度の印象を感じやすいかどうか等の観点からそれぞれの色覚の被験者の方々にご意見を頂きました。

検証調査結果及びマスメディア、国土交通省、気象庁等の関係機関からの意見を踏まえ、以下の通り警戒レベル及び警戒レベル相当情報の推奨配色を定めました。今後、関係機関等に対し、原則^{※3}として本配色を使用し、遅くとも9月までには対応^{※4}いただくようお願いすることとしております。

※1 一般色覚、1型色覚、2型色覚、ロービジョン者（3型色覚類似）

※2 検証調査実施者：特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構、伊藤啓教授（ケルン大学理学部生物学教室）

※3 配色を微調整する際の注意点は別添資料を参照下さい

※4 変更にあたりシステム改修等に時間を要するものは実施可能な時点から対応

	避難情報等	色	R G B 値	備考
警戒レベル5 警戒レベル5相当情報	災害発生情報	黒	12, 0, 12	完全な黒だと死を連想する可能性があるため、わずかに色味をつけている。
警戒レベル4 警戒レベル4相当情報	避難勧告、避難指示（緊急）	紫	170, 0, 170	
警戒レベル3 警戒レベル3相当情報	避難準備・高齢者等避難開始	赤	255, 40, 0	黒や紫との区別をしやすくするため、やや橙側に寄せている。
警戒レベル2 警戒レベル2相当情報	洪水注意報、大雨注意報等	黄	242, 231, 0	白との区別をしやすくするため、やや濃いめで、橙側に寄せている。
警戒レベル1	早期注意情報	白	255, 255, 255	
発表無し	—	—	—	原則として表示しない。「発表無し」と「レベル1」を区別する必要がある場合は、「発表無し」に白、「レベル1」に明灰（200, 200, 200）を用いることが考えられる。

<本件問合せ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（調査・企画担当）付 菅、長野

電話：03-3501-5693（直通）


(参考) 配色の微調整の際の注意点

推奨配色は多様な環境で見分けやすさを確認してあるので、多くの媒体でそのまま使用できるはずである。媒体に応じて RGB の値に微調整を加える際は、以下の点に注意されたい。なお、色の感じ方は人によって多様である。色の微調整を行う担当者の色の感じ方は、そのうちの1つの例に過ぎない。自分が一番見やすいように調整をすると、他の人にとっては見えにくいものになる危険があることに留意されたい。

【赤の調整】

1 型 (P 型) 色覚の人は、短波長の赤色を感じる視細胞を持たないために、濃い赤 (RGB 値で G の値が 0 の色) が一般の人よりも暗く、地味な色に感じられ、黒との区別がつきにくくなる。以下の図のように RGB 値で G の値を増やして橙に寄せるほど、1 型 (P 型) 色覚の人にも明るく、目に付きやすくなるが、橙に寄せすぎると「赤」という色名の印象が薄くなる。この指針では双方のニーズをなるべく満足できるように、G の値を 40 にしている。微調整の際は G の値を小さくしすぎないようにする。

	一般の人の色の感じ方					1 型 (P 型) 色覚の人の色の感じ方						
R	255	255	255	255	255	255	255	255	255	255	255	
G	0	20	40	60	80	100	0	20	40	60	80	100
B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0




(フォトショップによるシミュレーション。色の見え方には個人差があるのであくまで一例です。)

【紫の調整】

2 型 (D 型) 色覚の人は、紫を赤紫に寄せすぎると緑や灰色との区別がつきにくくなる。青紫に寄せた方が区別しやすくなるが、寄せすぎると「紫」でなく「青」に近く感じられ、「不安だ、危険だ」というイメージが薄くなる。この指針では双方を満足できるようにちょうど中間の色あいになっている。微調整の際は青や赤に寄せすぎないようにする。

(地図表示では警戒レベルが発表されていない地域が灰色や地形図の緑で表示されることがある。またテレビのテロップ表示などで単色で表示される紫が緑や灰色と誤認されると、「たいして危なくない」という印象を与えてしまう。そのため、これらの色と紫が確実に区別できることが重要である。)

	一般の人の色の感じ方					2 型 (D 型) 色覚の人の色の感じ方				
R	110	140	170	180	190	110	140	170	180	190
G	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B	190	180	170	140	110	190	180	170	140	110




(フォトショップによるシミュレーション。色の見え方には個人差があるのであくまで一例です。)

【黄色の調整】

白内障の人は、眼のレンズが黄濁していて白と黄色の差が小さく見える。そのため、明るく鮮やかな黄色は白との区別が付きにくい。暗く、橙に寄せた色ほど区別しやすくなるが、寄せすぎると「黄色」でなく「橙」に近く感じられ、「注意」というイメージが薄くなる。この指針では黄色に感じられる範囲でなるべく濃い色にしている。微調整の際は明るくしすぎないようにする。

	一般の人の色の感じ方					白内障の人の色の感じ方				
R	255	255	250	242	240	255	255	250	242	240
G	255	250	245	231	220	255	250	245	231	220
B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



(フォトショップによるシミュレーション。色の見え方には個人差があるのであくまで一例です。)